

第 14 期 活動実績（平成 30 年 10 月 1 日～令和元年 9 月 30 日）

《 会員/職員の状況 》

- ◆ 正会員 19 名
- ◆ 職員 29 名、非常勤職員 2 名、派遣 7 名

《 会議開催の状況 》

- ◆ 理事会 :2018 年 11 月 9 日、2019 年 3 月 14 日、2019 年 9 月 13 日
- ◆ 通常総会:2018 年 11 月 22 日
- ◆ 臨時総会:2019 年 3 月 28 日

《 事業報告 》

【がん研究者主導臨床研究事業】

- ◆ 国立がん研究センターと委託契約を締結し、がん集学的治療多施設共同臨床試験支援業務を実施した
- ◆ 臨床研究を行う研究班(受託研究一覧)と委託契約を締結し、データマネジメント業務を実施した
- ◆ 先進医療制度を用いる臨床研究を行う研究班(受託研究一覧)と委託契約を締結し、調整医療機関事務局業務を実施した
(受託研究一覧)

・データマネジメント業務

2018 年度 日本医療研究開発機構委託研究開発費革新的がん医療実用化研究事業 研究課題 46 件

研究代表者	研究課題名
秋元哲夫	切除可能肝細胞癌に対する陽子線治療と外科的切除の非ランダム化比較同時対照試験
永井宏和	Interim PET に基づく初発進行期ホジキンリンパ腫に対する ABVD 療法および ABVD/増量 BEACOPP 療法の非ランダム化検証的試験:JCOG1305 試験
大江裕一郎	EGFR 遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブ単剤治療とゲフィチニブにシスプラチン+ペメトレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験 (JCOG1404/WJOG8214L:AGAIN)
石川光也	進行・再発子宮頸癌の予後向上を目指した集学的治療の開発
吉田和弘	病理学的 Stage II/III で“vulnerable”な 80 歳以上の高齢者胃癌に対する開始量を減量した S-1 術後補助化学療法に関するランダム化比較第 III 相試験
永田 靖	早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験
岩佐 悟	切除不能進行・再発胃癌に対する個別化治療と最適化標準治療に関する研究
枝園忠彦	StageIV 乳癌に対する予後の改善を目指した標準治療の確立に関する研究
清水泰博	大腸癌肝転移切除例に適した新規抗がん剤を用いた術後補助化学療法の研究
坪佐恭宏	切除不能または再発食道癌に対する CF(シスプラチン+5-FU)療法と bDCF(biweekly ドセタキセル+CF)療法のランダム化第 III 相比較試験
寺島雅典	局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する臨床第 III 相試験
寺島雅典	高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併用化学療法の意義に関する臨床試験
濱口哲弥	Stage III 治癒切除大腸癌に対する術後補助療法としてのアスピリンの有用性を検証する二重盲検ランダム化比較試験

渡利英道	リンパ節転移リスクを有する子宮体癌に対する標準的リンパ節郭清確立のための多施設共同臨床
岡田守人	臨床病期 I / II 期非小細胞肺癌におけるリンパ節郭清の縮小化の治療的意義を検証するランダム化比較試験
笠松高弘	早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲手術の確立に関する研究
片井 均	患者の QOL 向上をめざした胃がんに対する低侵襲標準治療確立に関する多施設共同試験
佐藤豊実	上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験
田原 信	進行頭頸部がんに対する術後補助療法の標準治療確立のための多施設共同研究
渡辺俊一	非浸潤または小型非小細胞肺癌に対する機能温存手術の確立に関する研究
浅村尚生	高悪性度神経内分泌肺癌切除例に対する術後補助化学療法の標準治療確立のための研究
尾崎敏文	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究
金光幸秀	小腸腺癌に対する標準治療の確立に関する研究
塚崎邦弘	臨床試験と全国患者実態把握による indolent ATL に対する標準治療の開発研究
永根基雄	再発膠芽腫に対するテモゾロミド用量強化法を用いた標準治療確立に関する研究
成田善孝	予後不良の神経膠腫に対する標準治療の確立と希少癌組織のバイオバンクを目的とした多施設共同研究
西川 亮	中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテモゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究
本間明宏	進行上顎洞癌に対する超選択的動注化学療法を併用した放射線治療による新規治療法開発に関する研究
岡本 勇	高齢者進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する標準的化学療法の確立に関する研究
濱口哲弥	超高齢者社会における治療困難な高齢切除不能進行再発大腸癌患者に対する標準治療確立のための研究
丸山 大	高齢者多発性骨髄腫患者に対する至適な分子標的療法と高齢者評価ツールの確立および治療効果と毒性に関するバイオマーカーの探索的研究
石澤賢一	未治療低腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ早期介入に関するランダム化比較第 III 相試験:JCOG1411
奥坂拓志	胆道がんに対する治療法の確立に関する研究
中島貴子	高度腹膜転移胃癌に対する標準化学療法の確立に関する研究
並川健二郎	皮膚悪性黒色腫に対するインターフェロン β 局所注射による術後補助療法の開発に関する研究
古瀬純司	切除不能膀胱癌に対する標準治療の確立に関する研究
森実千種	消化器神経内分泌癌に対する標準治療の確立に関する研究
加藤 健	局所進行食道癌に対する新しい術前治療を確立する研究
神林智寿子	非浸潤性乳管癌 (DCIS) に対する有効かつ安全な患者 QOL の向上をめざした手術省略による新たな標準治療開発のための多施設共同臨床試験
北川雄光	臨床病期 I/II/III 食道癌 (T4 を除く) に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第 III 相試験
大幸宏幸	切除不能局所進行食道癌に対する標準治療確立のための研究
北條 隆	早期転移発見による予後の向上を目指した乳がん術後の新たな標準的フォローアップ法開発に関する研究
荒井陽一	上部尿路癌術後の膀胱内再発予防における標準治療法の確立と予後予測マーカーの開発
花井信広	Stage I/II 舌癌に対する予防的頸部郭清省略の意義を検証するための多施設共同臨床試験

田村研治	高齢者 HER2 陽性進行乳癌に対する T-DM1 療法とペルツズマブ+トラスツズマブ+ドセタキセル療法のランダム化比較第Ⅲ相試験
後藤 悌	非小細胞肺癌に対する PD-1 経路阻害薬の継続と休止に関するランダム化比較第Ⅲ相試験

2019 年度 日本医療研究開発機構委託研究開発費革新的がん医療実用化研究事業 研究課題 47 件

研究代表者	研究課題名
永田 靖	早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験
枝園忠彦	StageⅣ 乳癌に対する予後の改善を目指した標準治療の確立に関する研究
清水泰博	大腸癌肝転移切除例に適した新規抗がん剤を用いた術後補助化学療法の研究
坪佐恭宏	切除不能または再発食道癌に対する CF(シスプラチン+5-FU)療法と bDCF(biweekly ドセタキセル+CF)療法のランダム化第Ⅲ相比較試験
寺島雅典	局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する臨床第Ⅲ相試験
寺島雅典	高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併用化学療法の意義に関する臨床試験
高島淳生	StageⅢ 治癒切除大腸癌に対する術後補助療法としてのアスピリンの有用性を検証する二重盲検ランダム化比較試験
渡利英道	リンパ節転移リスクを有する子宮体癌に対する標準的リンパ節郭清確立のための多施設共同臨床
岡田守人	臨床病期Ⅰ/Ⅱ期非小細胞肺癌におけるリンパ節郭清の縮小化の治療的意義を検証するランダム化比較試験
笠松高弘	早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲手術の確立に関する研究
片井 均	患者の QOL 向上をめざした胃がんに対する低侵襲標準治療確立に関する多施設共同試験
佐藤豊実	上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験
田原 信	進行頭頸部がんに対する術後補助療法の標準治療確立のための多施設共同研究
渡辺俊一	非浸潤または小型非小細胞肺癌に対する機能温存手術の確立に関する研究
浅村尚生	高悪性度神経内分泌肺癌切除例に対する術後補助化学療法の標準治療確立のための研究
尾崎敏文	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究
金光幸秀	小腸腺癌に対する標準治療の確立に関する研究
塚崎邦弘	臨床試験と全国患者実態把握による indolent ATL に対する標準治療の開発研究
永根基雄	再発膠芽腫に対するテモゾロミド用量強化法を用いた標準治療確立に関する研究
成田善孝	予後不良の神経膠腫に対する標準治療の確立と希少癌組織のバイオバンクを目的とした多施設共同研究
西川 亮	中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテモゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究
本間明宏	進行上顎洞癌に対する超選択的動注化学療法を併用した放射線治療による新規治療法開発に関する研究
濱口哲弥	超高齢者社会における治癒困難な高齢切除不能進行再発大腸癌患者に対する標準治療確立のための研究
石澤賢一	未治療低腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ早期介入に関するランダム化比較第Ⅲ相試験:JCOG1411
奥坂拓志	胆道がんに対する治療法の確立に関する研究
並川健二郎	皮膚悪性黒色腫に対するインターフェロンβ局所注射による術後補助療法の開発に関する研究
古瀬純司	切除不能膝癌に対する標準治療の確立に関する研究
森実千種	消化器神経内分泌癌に対する標準治療の確立に関する研究

加藤 健	局所進行食道癌に対する新しい術前治療を確立する研究
神林智寿子	非浸潤性乳管癌 (DCIS) に対する有効かつ安全な患者 QOL の向上をめざした手術省略による新たな標準治療開発のための多施設共同臨床試験
北川雄光	臨床病期 I/II/III 食道癌 (T4 を除く) に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第 III 相試験
大幸宏幸	切除不能局所進行食道癌に対する標準治療確立のための研究
北條 隆	早期転移発見による予後の向上を目指した乳がん術後の新たな標準的フォローアップ法開発に関する研究
荒井陽一	上部尿路癌術後の膀胱内再発予防における標準治療法の確立と予後予測マーカーの開発
花井信広	Stage I/II 舌癌に対する予防的頸部郭清省略の意義を検証するための多施設共同臨床試験
田村研治	高齢者 HER2 陽性進行乳癌に対する T-DM1 療法とペルツズマブ+トラスツズマブ+ドセタキセル療法のランダム化比較第 III 相試験
後藤 悌	非小細胞肺癌に対する PD-1 経路阻害薬の継続と休止に関するランダム化比較第 III 相試験
秋元哲夫	切除可能肝細胞癌に対する陽子線治療と外科的切除の非ランダム化同時対照試験
池松弘朗	局所切除後の垂直断端陰性かつ高リスク下部直腸粘膜下層浸潤癌 (pT1 癌) に対するカペシタビン併用放射線療法の単群検証的試験に関する研究開発 (JCOG1612)
大江裕一郎	EGFR 遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブまたはオシメルチニブ単剤療法とゲフィチニブまたはオシメルチニブにシスプラチン+ペメトレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験
吉川貴己	進行胃癌を対象とした大網切除に対する大網温存の非劣性を検証するランダム化比較第 III 相試験
田仲和宏	進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究
中村泰大	爪部悪性黒色腫への指趾骨温存切除による新たな低侵襲標準治療の開発
永井宏和	Interim PET に基づく初発進行期ホジキンリンパ腫に対する ABVD 療法および ABVD/増量 BEACOPP 療法の非ランダム化検証的試験: JCOG1305 試験
石川光也	進行・再発子宮頸癌の予後向上を目指した集学的治療の開発
伊藤雅昭	直腸癌局所再発に対する標準治療確立のための研究開発
隈部俊宏	可及的摘出術が行われた初発膠芽腫に対するカルムスチン脳内留置用剤を用いた標準治療確立に関する研究

・調整医療機関事務局業務

2018 年度 日本医療研究開発機構委託研究開発費革新的がん医療実用化研究事業

研究代表者	研究課題名
秋元哲夫	切除可能肝細胞癌に対する陽子線治療と外科的切除の非ランダム化比較同時対照試験
寺島雅典	高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併用化学療法の意義に関する臨床試験
濱口哲弥	Stage III 治癒切除大腸癌に対する術後補助療法としてのアスピリンの有用性を検証する二重盲検ランダム化比較試験
金光幸秀	小腸腺癌に対する標準治療の確立に関する研究
塚崎邦弘	臨床試験と全国患者実態把握による indolent ATL に対する標準治療の開発研究
永根基雄	再発膠芽腫に対するテモゾロミド用量強化法を用いた標準治療確立に関する研究
西川 亮	中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテモゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究

2019 年度 日本医療研究開発機構委託研究開発費革新的がん医療実用化研究事業 研究課題 7 件

研究代表者	研究課題名
寺島雅典	高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併用化学療法の意義に関する臨床試験
高島淳生	Stage III 治癒切除大腸癌に対する術後補助療法としてのアスピリンの有用性を検証する二重盲検ランダム化比較試験

金光幸秀	小腸腺癌に対する標準治療の確立に関する研究
塚崎邦弘	臨床試験と全国患者実態把握による indolent ATL に対する標準治療の開発研究
永根基雄	再発膠芽腫に対するテモゾロミド用量強化法を用いた標準治療確立に関する研究
西川 亮	中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテモゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究
秋元哲夫	切除可能肝細胞癌に対する陽子線治療と外科的切除の非ランダム化同時対照試験